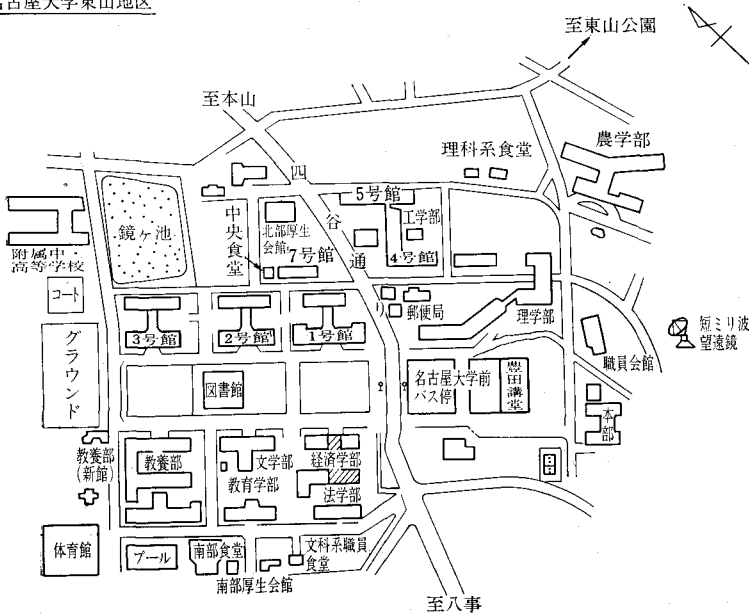


日本天文学会 1985年 秋季年会 プログラム

月 日 昭和60年10月7日(月)~9日(水)
 場 所 名古屋市名古屋大学 〒464 名古屋市千種区不老町
 経済学部第3講義室(A) 会期中電話 { 052-781-9968 (直通)
 経済学部第4講義室(B) { 052-781-5111 (内 3450)

		午前 9時			午後 1時			講演番号				
		15分	10	11	12	15分	2	3	4	5	15分	6
月 日	会場	分 野			分 野							
10月7日 (月)	A	観測機器・情報処理			内地留学 奨学金選 考委員会	観測機器・情報処理			A 1~37			
	B	恒 星				恒 星				B 1~36		
10月8日 (火)	A	観測機器・情報処理 太陽系, 太陽			写 真	太 陽			懇親会	A 38~73		
	B	恒星, 我々の銀河系				我々の銀河系, 銀河・銀河団				B 37~71		
10月9日 (水)	A	星間現象			理 事 会	星間現象			A 74~109			
	B	銀河・銀河団, 宇宙論				宇宙論, 位置天文学 天体力学				B 72~107		

1. 会場Aは経済学部第3講義室, 会場Bは同学部第4講義室で, 併行して年会を行います。
2. 第1日目の講演開始は午前9時15分, 2日目・3日目の講演開始は午前9時で, 午後は1時15分からです。講演時間は7分間です。
3. スライドは透視した時正しい上下関係になるようにして, その手前側上方に講演番号と氏名, 映写順序番号を書き, 下縁に5mm位の幅の赤線をつけて下さい。ピラは用いず, スライドまたはオーバーヘッドプロジェクターを御利用下さい。
4. 懇親会会場は浩養園(年会々場から車で20分ですが貸切バスを用意します。詳細は年会々場でお確かめ下さい。)
名古屋大学東山区



国鉄名古屋駅より名古屋大学(経済学部)までの道順
 名古屋駅~本山
 ・地下鉄東山線にて藤ヶ丘行にのり約15分(200円)
 本山~名古屋大学
 a. 徒歩にて約15分(四谷通り)
 b. バス(平針住宅行又は畠田住宅行)に乗り名古屋大学前下車(三つ目の停留所)運賃160円, 昼間は10分間隔, 朝夕は約5分間隔
 c. タクシー 本山駅バス停近くに乗り場がある。
 500~600円
 理学部へ行く場合は地下鉄東山線東山公園駅(本山の一つ先)より近道があります。

会場 A (経済学部第3講義室)

第1日 10月7日(月) 午前9時15分より 会場 A

- A 1 多層膜反射鏡のX線光学特性: 山下広順, 高橋一道, 廿日出勇(阪大理), 国枝秀世, 平野辰己(名大理)
 A 2 X線反射鏡の開発(II): 国枝秀世, 平野辰己, 紀伊恒男, 長瀬文昭, 田原 讓(名大理)
 A 3 ロケット搭載サブミリ波放射計の開発: 佐藤紳司, 松本敏雄, 村上 浩, 松尾 宏, 早川幸男(名大理), A. Lange, P. L. Richards (カリフォルニア大)
 A 4 気球搭載用電波分光計の開発: 杉谷光司, 小川英夫, 大橋洋二, 福井康雄, 河鱈公昭(名大理), 阿部安宏(日通機)
 A 5 気球搭載サブミリ波望遠鏡: 河鱈公昭, 福井康雄, 小川英夫, 杉谷光司(名大理), 小川利紘(東大理)
 A 6 人工衛星電波を利用したホログラフィー鏡面測定装置の開発: 石黒正人¹, 田中春夫², 森田耕一郎³, 海部宣男¹, 宮沢敬輔¹, 高橋敏一¹, 林 左絵子³(¹東京天文台野辺山, ²東洋大工, ³東大理)
 A 7 ホログラフィー鏡面測定の許容指向誤差: 近藤 寿, 田中春夫, 木村晋也(東洋大工)
 (休憩)
 A 8 遠赤外ファブリ・ペロー分光器の開発: 中川貴雄(東大理), 奥田治之, 芝井 広(宇宙研), 小林行泰(東京天文台)
 A 9 黄道光の近赤外偏光・測光観測: 松原英雄(京大理), 芝井 広, 奥田治之(宇宙研)
 A 10 短ミリ波帯 $\lambda/4$ 移相器の移相特性: 加藤龍司(宇都宮大教育), 奥平敦也(京大理), 田原博人(宇都宮大教育), 森本雅樹, 坪井昌人, 宮沢敬輔, 井上 允(東京天文台野辺山)
 A 11 ミリ波帯超伝導(SIS)受信器の開発(III)——素子開発: 小川英夫, 水野 亮, 立松健一, 福井康雄(名大理), 奥山克郎(山形大工)
 A 12 ニオブ系 SIS 素子によるミリ波ミキサ: 稲谷順司, 春日 隆, 宮澤敬輔, 岩下浩幸(東京天文台野辺山)
 A 13 ミリ波帯超伝導(SIS)受信器の開発(IV)——クライオスタット——: 立松健一, 小川英夫, 福井康雄(名大理)
 A 14 ミリ波 LO の位相比較: 仰木一孝(日通機 KK), 森本雅樹, 平林 久, 井上 允, 岩下浩幸, 坪井昌人(東京天文台野辺山)
 A 15 4m 短ミリ波望遠鏡(XI)——データ処理ソフトウェア: 高羽 浩, 杉谷光司, 福井康雄, 河鱈公昭(名大理)

第1日 10月7日(月) 午後1時15分より 会場 A

- A 16 IRAS POINT SOURCE DATA の検索ツール: 西村史朗(東京天文台)
 A 17 ライン・スペクトル・データ処理システム「LINEPRC」: 鈴木博子(東京天文台野辺山)
 A 18 光波干渉計を利用した天体位置観測: 佐藤弘一, 久慈清助, 角田忠一(緯度観測所)
 A 19 真空塔望遠鏡による太陽視位置観測の問題点: 角田忠一(緯度観測所)
 A 20 PZT 乾板自動測定装置の開発 II 性能評価: 小林行泰, 原 孝, 藤井 繁(東京天文台)
 A 21 点状電波源の 40 GHz 連続波観測: 会津 晃(立大理), 井上 允(東京天文台野辺山), 田原博人, 加藤龍司(宇都宮大教育)
 A 22 Xバンド VLBI 観測による鹿島——野辺山基線の決定: 国森裕生, 川口則幸, 高橋幸雄, 雨谷 純(電波研鹿島), 平林 久, 井上 允, 坪井昌人, 岩下浩幸, 森本雅樹(東京天文台野辺山)
 A 23 動スペクトル計の拡張と校正システム: 川島 進, 篠原徳之, 沢 正樹, 小杉健郎(東京天文台)
 A 24 広視野電波パトロールカメラ用デジタルレンズの機能: 大師堂経明, 遊馬邦之(早大教育), 小原啓義, 小松進一(早大理工), 長根 潔(東京天文台野辺山)
 A 25 デジタル化した広視野電波パトロールカメラによる試験観測: 遊馬邦之, 大師堂経明(早大教育), 小原啓義, 小松進一(早大理工), 長根 潔(東京天文台野辺山)
 A 26 FX の 320 MHz 帯域化等の改良: 近田義広, 石黒正人, 春日 隆, 森田耕一郎, 半田一幸, 神沢富雄, 岩下浩幸, 石川晋一, 中島 潔, 高橋敏一(東京天文台野辺山), 奥村幸子(東大理)
 (休憩)
 A 27 デジタル分光相関器(FX)を用いた点電波源の連続波観測と色収差補正: 奥村幸子(東大理), 近田義広, 石黒正人, 森田耕一郎, 神沢富雄, 春日 隆, 岩下浩幸(東京天文台野辺山), 川辺良平, 小林秀行(東大理)
 A 28 FX の性能評価(1): 神沢富雄, 近田義広, 石川晋一, 中島 潔, 岩下浩幸, 半田一幸, 高橋敏一(東京天文台野辺山)
 A 29 22 GHz における大気による干渉計位相変動(3): 春日 隆, 石黒正人(東京天文台野辺山), 川辺良平(東大理)
 A 30 On Millimeter VLBI with 45 m Radiotelescope: Hisashi Hirabayashi, Masaki Morimoto, Makoto Inoue, Hiroyuki Iwashita (NRO) and Masato Tsuboi (Tokyo Univ.)
 A 31 5 素子干渉計による Mapping 精度: 森田耕一郎, 石黒正人, 春日 隆(東京天文台野辺山), 小林秀行, 川辺良平(東大理)
 A 32 大型太陽電波写真儀: スナップショットと短時間超合成: 饒目信三, 西尾正則(名大空電研)
 A 33 対物プリズムスペクトル画像の自動検出: 市川 隆(京大理), 中井善寛(飛騨・花山天文台)
 A 34 SIT-TV カメラを用いたハルトマン・テスト I: 樽沢賢一, 野口 猛, 青木 勉, 征矢野隆夫(東京天文台)
 A 35 ハニカム鏡の製作(I): 磯部瑋三, 大島紀夫, 野口 猛, 清水 実, 冨田弘一郎(東京天文台), 加茂博一(株・オハラ)
 A 36 望遠鏡・ドームの温度測定(II): 中桐正夫, 野口 猛, 西野洋平, 大島紀夫(東京天文台)
 A 37 反射望遠鏡補正光学系の特性 II: 成相恭二, 山下泰正, 中桐正夫(東京天文台)

会場 B (経済学部第4講義室)

第1日 10月7日(月) 午前9時15分より 会場 B

- B 1 等強度のスペクトル線のブレンド効果: 川端 潔 (東京理科大学)
- B 2 輝線天体 KUV 474-02: 飯塚吉三, 野口 猛, 近藤雅之 (東京天文台)
- B 3 赤色巨星の高分散観測: 泉浦秀行, 川上 肇, 尾中 敬, 上條文夫 (東大理), 田辺俊彦, 乗本祐慈 (東京天文台)
- B 4 C_2 分子 Phillips 帯の振動遷移確率: 上條文夫 (東大理)
- B 5 S 型及び SC 型星の近赤外測光観測: 野口邦男, 秋葉 誠 (名大理)
- B 6 DR Tau の分光観測: 北村俊昭 (都立大), 磯部秀三, 乗本祐慈 (東京天文台)
- B 7 B 型特異星の亜鉛 (Zn) 量: 定金晃三 (大阪教育大), 寿岳 潤 (東京天文台), 比田井昌英 (東海大)
- (休 憩)
- B 8 Statistical Equilibrium of Neutral Calcium in the Sun & Procyon: 渡辺鉄哉 (東京天文台), シュテーンボック (キール大)
- B 9 ミリ波帯における PS 分子の探査: 辻 隆 (東京天文台), 海野和二郎 (東大理), 鈴木博子, 大石雅寿, 浮田信治, 海部宣男 (東京天文台野辺山)
- B10 ϵ Aur の伴星円盤は偏平化しつつある?: 大木俊夫, 坂井美晃 (福島大教育)
- B11 ぎょしゃ座 ϵ 星の模型 (II): 竹内 峯 (Konkoly 天文台・東大理)
- B12 ぎょしゃ座 ϵ 星の降着円盤: 斎藤紀男 (東大理)
- B13 線輪郭変化 B 型星の振動モード: 尾崎洋二 (東大理)
- B14 一様回転する星での振動的対流モード: 李 宇珉, 斉尾英行 (東大理)
- B15 B_0 現象と回転-波相互作用: 安藤裕康 (東京天文台)

第1日 10月7日(月) 午後1時15分より 会場 B

- B16 子午面内に定常な流れのある自己重力流体: 江里口良治 (東大教養), 蜂巢 泉 (京大工), E. Müller (MPA)
- B17 ES 流れの表面特異性の非存在について: 桜井健郎 (京大工)
- B18 L_2 点からの質量損失に伴う接触連星系の進化: 中村泰久 (都立駒場高), 中村誠臣 (福岡管区気象台)
- B19 $10-15M_{\odot}$ の星の進化と元素合成 II: 橋本正章, 野本憲一 (東大教養)
- B20 Weber-Davis 理論による星風の解析 (II): 斎藤泰通 (岩手大教育), 斎藤 衛 (京大理)
- B21 アクリーション円盤上の渦状衝撃波: 松田卓也 (京大工), 沢田恵介 (川崎重工), 蜂巢 泉 (京大工)
- B22 降着円盤中の磁気乱流と粘性係数 (II): 堀内敏朗, 加藤正二 (京大理)
- B23 矮新星における Transition Wave の構造: 嶺重 慎, 尾崎洋二 (東大理)
- B24 新定常状態にもとづく質量放出の方程式: 加藤万里子 (東大理)
- B25 X線パルサー連星 4U1907+09 の高分散分光: 家 正則 (ESO/東京天文台)
- B26 二重白色矮星系の進化 (He-He の場合): 川合 靖, 斉尾英行 (東大理), 野本憲一 (東大教養)
- (休 憩)
- B27 中性子星の半径, 質量, 距離の観測的上限: 戎崎俊一 (東大理), 野本憲一 (東大教養)
- B28 膨張する中性子星外層の構造と進化: 花輪知幸 (名大理)
- B29 SS 433 のX線と光の同時観測: 松岡 勝 (宇宙研), 寿岳 潤 (東京天文台), 高岸邦夫 (宮崎大工), 面高俊宏 (鹿児島大), G. Stewart, M. G. Watson (Leicester 大), J. Kemp (Oregon 大), W. Brinkmann (MPI)
- B30 「てんま」による SS 433 の鉄輝線の観測: 高野史郎, 松岡 勝 (宇宙研), 他 天馬観測班
- B31 Cir X-1 からのX線バースト: 堂谷忠靖, 井上 一, 田中靖郎 (宇宙研)
- B32 Cir X-1 の強度変動とスペクトル変動: 北本俊二, 宮本重徳 (阪大理)
- B33 Quasi Periodic Oscillation と2成分スペクトル: 平野辰巳, 早川幸男, 長瀬文昭 (名大理)
- B34 Slow Burster からのX線バーストの構造: 紀伊恒男, 田原 讓 (名大理), 王 徳焯 (紫金山天文台)
- B35 ラピッド・バースターの時間スケール不変プロファイル: 田原 讓 (名大理), 河合誠之, 田中靖郎 (宇宙研)
- B36 GX 301-2 のX線強度の異常減少について: 中條将典 (京大理), D. A. Leahy (Calgary Univ.), 松岡 勝, 河合誠之, 小山勝二, 楨野文命, 井上 一 (宇宙研), 他 天馬観測班

会場 A (経済学部第 3 講義室)

第 2 日 10 月 8 日 (火) 午前 9 時より 会場 A

- A38 Ritchey-Chretien 式望遠鏡の試作 I, 概要: 小暮智一, 上杉 明, 大谷 浩, 斎藤 衛, 平田竜幸 (京大理), 太田健太郎, 荒屋正一, 三ヶ山吉弘 (五藤光学), 川井誠一 (大工試)
- A39 Ritchey-Chretien 式望遠鏡の試作 II. 光学系設計: 荒屋正一, 太田健太郎, 三ヶ山吉弘 (五藤光学), 川井誠一 (大工試), 上杉 明, 大谷 浩, 斎藤 衛, 平田龍幸, 小暮智一 (京大理)
- A40 AD 837 年のハレー彗星の尾について: 村松 修, 増沢 等 (五島プラネタリウム)
- A41 Condensation of H_2O Gas Near a Cometary Nucleus. II: 山本哲生, 北村良実 (宇宙研)
- A42 Axisymmetric Dusty Gas Jet in the Inner Coma of a Comet: 北村良実 (宇宙研)
- A43 彗星塵の流出に働く分子成分について: 向井 正, 向井苑生 (金沢工大)
- A44 彗星大気放射場の計算とその応用: 向井苑生, 向井 正 (金沢工大)
- A45 三次元平板大気系による反射輝度の推定: 上野季夫 (金沢工大)
- (休 憩)
- A46 月面各部の輝度・偏光度・色指数の分布の相関関係: 関口直甫 (東京天文台)
- A47 火星オリンパス雲の多層モデル: 鳴海泰典 (九州東海大工), 赤羽徳英 (飛騨天文台), 岩崎恭輔, 斎藤良一 (花山天文台)
- A48 族の小惑星の明るさの分布: 古在由秀 (東京天文台)
- A49 木星デカメータ波の発生場所: 前田耕一郎 (フロリダ大, 兵庫医大)
- A50 気球望遠鏡による土星の遠赤外分光観測: 水谷耕平, 高見英樹, 舞原俊憲 (京大理), 奥田治之, 芝井 広, 中川貴雄 (宇宙研), 小林行泰 (東京天文台), 広本宣久 (電波研)
- A51 冥王星の外には何があるか: 中野武宣 (京大理)
- A52 太陽風速度分布三次元構造の年変化: 小島正宜, 柿沼隆清 (名大空電研)
- A53 太陽フィラメントの消滅に伴う惑星間擾乱: 渡辺 堯, 柿沼隆清, 小島正宜 (名大空電研)

第 2 日 10 月 8 日 (火) 午後 1 時 15 分より 会場 A

- A54 解像度の良い $H\alpha$ 単色像の観測: 森下博三, 日江井榮二郎 (東京天文台)
- A55 サイクル 20 におけるフレアの経度分布: 鈴木美好 (四日市高), 久保田諄 (花山天文台), 一本 潔, 當村一朗 (京大理), 黒河宏企 (飛騨天文台)
- A56 小規模エネルギー解放現象: 川口市郎, 金 甲星 (飛騨天文台)
- A57 Emitting Region of Sodium Lines in a Prominence: K. S. Kim, I. Kawaguchi (Kyoto Univ.), N. Oda (Hyogo College of Medicine)
- A58 Double Sub-Peak 構造をもつバーストと粒子加速: 中島 弘 (東京天文台), T. Tajima, F. Brunel (Univ. of Texas), 坂井純一 (富山大)
- A59 地上中性子モニタによる太陽中性子の検出: 吉森正人, 渡辺博之 (立大理), 高橋一偉 (理研), E. L. Chupp (UNH)
- A60 フレアにおけるプラズマ加熱の変遷: 田中捷雄, 渡辺鉄哉, 新田就亮, 秋田 亨 (東京天文台), 高倉達雄 (東大理)
- A61 太陽フレアにおける硬 X 線スペクトルの低エネルギー側への接続: 新田就亮, 大木健一郎 (東京天文台)
- A62 Two-ribbon flare における硬 X 線源の位置: 大木健一郎 (東京天文台), 高倉達雄 (東大理)
- A63 浮上双極磁場中で起こるフレアについて: 黒河宏企, 北井礼三郎, 船越康宏, 中井善寛, 花岡庸一郎 (京大理附属天文台), 柴田一成 (愛知教育大)
- (休 憩)
- A64 太陽黒点の日月経度分布: 當村一朗, 久保田 諄, 鈴木美好*, 一本 潔, 黒河宏企 (京大理附属天文台, *四日市高校)
- A65 太陽黒点の Broad Band Polarization 観測: 牧田 貢, 大城義名 (東京天文台)
- A66 黒点暗部光球層・彩層の微細構造: 北井礼三郎 (飛騨天文台)
- A67 Evershed flow の速度分布: 一本 潔 (京大理附属天文台)
- A68 ミリ波増光と白斑: 柴崎清登 (名大空電研), 石黒正人, 甲斐敬造, 小杉健郎, 日江井榮二郎, 牧田 貢 (東京天文台)
- A69 太陽振動の逆問題: 自転構造への応用: 柴橋博資, 李 宇珉 (東大理)
- A70 対流層における圧力効果について: 近藤正明 (専修大)
- A71 グローバル対流の流れの検出と活動領域: 吉村宏和 (東大理), P. H. Scherrer, R. S. Bogart, J. T. Hoeksema (Stanford Univ.)
- A72 Taylor Relaxation によるコロナ加熱: 桜井 隆 (東大理), P. K. Browning, E. R. Priest (Univ. St. Andrews)
- A73 コロナホール下の彩層 (II): 神野光男 (飛騨天文台), 竹内彰継 (京大理), 田中利一郎 (新潟大教育)

会場 B (経済学部第4講義室)

第2日 10月8日(火) 午前9時より 会場 B

- B37 Plasma neutrino 過程における Axial-vector の寄与: 宗像弘春 (鶴見大), 神山泰治, 伊藤直紀 (上智大理工)
- B38 X線照射を受けた降着円盤の構造: 井上 一 (宇宙研), 蓬沢豊運 (立大理)
- B39 バーストのコンプトン化: 中村典雄, 他 (宇宙研)
- B40 コンプトン散乱の吸収線に与える影響: 茂山俊和, 戎崎俊一 (東大理)
- B41 天体物理学的力学系の次元の解析: 海野和二郎 (東大理)
- B42 惑星状星雲の化学組成と運動学的特性: 田村眞一 (東北大理; イリノイ大)
- B43 Early-type Stars in the Canis Major Star Forming Region: S. D. Wiramihardja, T. Kogure, M. Nakano, S. Yoshida (京大理)
- B44 CMa OBI/RI における輝線星の探査: 吉田重臣, S. D. Wiramihardja, 小暮智一, 仲野 誠 (京大理)
- (休 憩)
- B45 銀河ハローの化学進化: 隈井泰樹, 佐場野 裕, 土佐 誠 (東北大理)
- B46 球状星団の形成について: 佐場野 裕, 土佐 誠 (東北大理)
- B47 重力多体系における重力熱力学的振動: 牧野淳一郎, 杉本大一郎 (東大教養), 種神純一郎 (東大理)
- B48 巨大分子雲系の N 体数値実験 (III) 分子雲リング: 福長正考, 土佐 誠 (東北大理)
- B49 巨大分子雲による星の速度分散の進化: 釜堀弘隆, 藤本光昭 (名大理)
- B50 北銀極域の star count と銀河系モデル: 石田蕙一, 吉井 讓 (東京天文台), R. S. Stobie (Roy. Obs. Edin.)
- B51 一様回転恒星 disk の安定性: 沢村峰夫 (東大理)
- B52 デカメータ波パルサーとブラックホール: 大家 寛, 森岡 昭, 飯島雅英 (東北大理)

第2日 10月8日(火) 午後1時15分より 会場 B

- B53 銀河中心孤状電波源の三つ子赤外線源: 奥田治之, 芝井 広 (宇宙研), 海部宣男 (東京天文台野辺山), 小林行泰 (東京天文台), 林 正彦 (東大理), 長田哲也 (京大理), I. Gatley (UKIRT)
- B54 銀河中心領域の磁場観測: 坪井昌人^{1,2}, 井上 允¹, 半田利弘^{1,2}, 田原博人³, 加藤龍司³, 祖父江義明¹, 海部宣男¹ (¹東京天文台野辺山, ²東大理, ³宇都宮大教)
- B55 銀河系中心の回転分子リングの発見: 海部宣男, 稲谷順司 (東京天文台野辺山), 林 正彦 (東大理), I. Gatley (UKIRT)
- B56 IC 342 中心核の CO 観測: 林 正彦, 半田利弘 (東大理), 祖父江義明, 長谷川哲夫, 中井直正 (東京天文台野辺山), Steeven Lord, Judith Young (マサチューセッツ大)
- B57 M83 の bar 領域の CO 観測: 半田利弘^{1,2}, 祖父江義明², 中井直正², 藤本光昭³, 林 正彦^{1,2} (¹東大理, ²東京天文台野辺山, ³名大理)
- B58 M82 の 32 GHz 連続波電波と CO: 中井直正 (東京天文台野辺山), H. W. Morsi, U. Klein (MPIfR)
- B59 NGC 1068 の CO 観測: 兼古 昇, 森田一彦 (北大理), 杉谷光司, 岩田隆浩 (名大理), 海部宣男, 中井直正 (東京天文台野辺山), H. Liszt (NRAO)
- B60 Cloud Fluid 中の銀河衝撃波とその安定性: 富阪幸治 (北大理)
- B61 矮小銀河の形成と進化 (II): 土佐 誠, 中村明子, 佐場野 裕 (東北大理)
- B62 Dark Matter 中の銀河間雲モデル: 梅村雅之 (北大理, 東京天文台), 池内 了 (東京天文台)
- (休 憩)
- B63 NGC 1068 の多色表面測光: 市川伸一 (東大理), 岡村定矩 (東京天文台), 兼古 昇 (北大理)
- B64 NGC 4151 中心核の変光観測: 大谷 浩 (京大理), 兼古 昇 (北大理)
- B65 NGC 4388 の光学域高分散分光観測: 綾仁一哉 (東大理), 家 正則 (東京天文台, ESO)
- B66 BL Lac Objects の短周期変動: 菊池 仙, 三上良孝 (東京天文台)
- B67 クェーサー KUV 413-44: 野口 猛, 近藤雅之 (東京天文台)
- B68 スターバースト領域の高分散分光観測 I. Mk297: 谷口義明, 田村眞一 (東北大理)
- B69 バースト的星形成による特異銀河の解釈: 野口正史 (東京天文台), 石橋史朗 (東大理)
- B70 高温電子によるコンプトン散乱: 楠瀬正昭 (東大理), 高原文郎 (東京天文台野辺山)
- B71 非定常コンプトン化のモンテカルロシミュレーション: 高原文郎 (東京天文台野辺山)

会場 A (経済学部第3講義室)

第3日 10月9日(水) 午前9時より 会場 A

- A 74 新超星残骸からのX線スペクトル: 常深 博, 山下廣順 (阪大理)
- A 75 白鳥座ループのバルマー線フィラメント: 伊藤 裕 (コロラド大 JILA), R. A. Fesen (同 LASP)
- A 76 気球望遠鏡による遠赤外分光観測: 芝井 広, 奥田治之, 中川貴雄, 西村 純, 山上隆正, 成田正直, 狛 豊, 松坂幸彦 (宇宙研), 舞原俊憲, 水谷耕平, 高見英樹 (京大理), 小林行泰 (東京天文台), 廣本宣久 (電波研), 矢島信之 (機械技研), J. Thomas, R. Sood (Univ. of Melbourne)
- A 77 気球搭載望遠鏡による遠赤外分光観測: 高見英樹, 舞原俊憲, 水谷耕平 (京大理), 奥田治之, 芝井 広, 中川貴雄 (宇宙研), 小林行泰 (東京天文台), 廣本宣久 (電波研)
- A 78 気球による H₂O 遠赤外線スペクトル観測: 舞原俊憲, 高見英樹, 水谷耕平 (京大理), 芝井 広, 奥田治之, 中川貴雄, 西村 純, 山上隆正 (宇宙研), 小林行泰 (東京天文台), 廣本宣久 (電波研), J. A. Thomas, R. Sood (Univ. of Melbourne)
- A 79 G45.13+0.14A からの Br γ 線スペクトル: 田中培生, 山下卓也, 佐藤修二, 西田 稔 (京大理)
- A 80 OMC 1 の赤外構造: 中田好一 (東大理)
- A 81 新しい赤外線星雲 GGD 27/28: 山下卓也, 佐藤修二, 長田哲也, 田中培生 (京大理)
- (休憩)
- A 82 波長 $\lambda=20, 30 \mu\text{m}$ で見た Sgr B2—UKIRT での高分解マッピング: 長田哲也 (京大理), 奥田治之 (宇宙研), 森本雅樹, 大石雅寿 (東京天文台野辺山), Ian Gatley (UKIRT)
- A 83 Sgr B2 領域の 43 GHz 連続波観測: 赤羽賢司, 森本雅樹, 祖父江義明, 平林 久, 井上 允 (東京天文台野辺山), 半田利弘 (東大理)
- A 84 Sgr B2 の分子線観測: 森本雅樹, 大石雅寿, 神沢富雄, 鈴木博子, 海部宣男, 石川晋一 (東京天文台野辺山)
- A 85 オリオン分子雲の高分解能イメージ I. CO J=1-0 輝線: 長谷川哲夫¹, Ian Gatley², 林 正彦³, 面高俊宏⁴, 海部宣男¹, Glenn White⁵ (¹東京天文台野辺山, ²UKIRT, ³東大理, ⁴鹿兒島大教養, ⁵Queen Mary College)
- A 86 オリオン分子雲の高分解能イメージ II. CS J=1-0/J=2-1 輝線: 面高俊宏¹, 長谷川哲夫², 林 正彦³, 稲谷順司², 海部宣男² (¹鹿兒島大教養, ²東京天文台野辺山, ³東大理)
- A 87 Ori 星雲北側の“回転 disk”構造について: 大石雅寿, 海部宣男, 鈴木博子, 宮地竹史 (東京天文台野辺山), 林左絵子 (東大理)
- A 88 CRL 2688 (Egg Nebula) の CO Mapping 観測: 川辺良平 (東大理), 石黒正人, 春日 隆, 森田耕一郎, 浮田信治, 海部宣男 (東京天文台野辺山), 小林秀行, 奥村幸子 (東大理)
- A 89 H II 領域内のグロービュール—IC 1396 の CO 観測—仲野 誠, 冨田良雄, 大谷 浩 (京大理), 小倉勝男 (国学院大), 祖父江義明 (東京天文台)

第3日 10月9日(水) 午後1時15分より 会場 A

- A 90 NGC 7538 コア領域の3つの高速ガス流: 亀谷 収, 長谷川辰彦, 平野尚美, 高窪啓弥 (東北大理), 関 宗蔵 (東北大教養)
- A 91 S 255/S 257 分子雲の CS 輝線観測: 平野尚美, 亀谷 収, 長谷川辰彦, 高窪啓弥 (東北大理), 関 宗蔵 (東北大教養)
- A 92 ρ Ophiuchi Dark Cloud の ¹³CO (1-0) 観測: 水野 亮, 福井康雄 (名大理)
- A 93 L 723 の分子流の構造について: 林 左絵子¹, 内田 豊², 柴田一成³, 海部宣男⁴, 長谷川哲夫⁴ (¹東大理, ²東京天文台, ³愛知教育大, ⁴東京天文台野辺山)
- A 94 NGC 2071 野辺山における双極分子流の微細構造: 岩田隆浩, 福井康雄 (名大理), 鷹野敏明 (ケルン大学)
- A 95 L 1551 分子流のシュル構造と速度場: 柴田一成¹, 内田 豊², 海部宣男³, 林 左絵子⁴, 長谷川哲夫³ (¹愛知教育大, ²東京天文台, ³東京天文台野辺山, ⁴東大理)
- A 96 Bipolar flow 天体に伴う高密度分子雲の温度決定: 鷹野敏明 (ケルン大)
- A 97 W49A の構造 II. $5 \times 10^4 M_{\odot}$ のコア: 宮脇亮介 (八王子工高), 林 正彦 (東大理), 長谷川哲夫 (東京天文台野辺山)
- A 98 W3 core の CO 高分解能マッピング観測: 小林秀行¹, 林 正彦¹, 川辺良平¹, 長谷川哲夫², 石黒正人², 春日 隆², 森田耕一郎², 奥村幸子¹ (¹東大理, ²東京天文台野辺山)
- A 99 M17 南西巨大分子雲における輝線星探査: 篠原正雄 (駒沢大文), 小倉勝男 (国学院大)
- (休憩)
- A100 星間雲の衝突過程: 長沢幹夫, 観山正見 (京大理)
- A101 磁場の貫いた等温平板雲の分裂: 観山正見 (京大理), 成田真二 (同大工), 林 忠四郎
- A102 Heiles Cloud 2 の磁場構造: 田村元秀, 長田哲也, 山下卓也, 佐藤修二 (京大理)
- A103 双極分子流は歳差しているか?: 福江 純, 横尾武夫 (大阪教育大)
- A104 降着円盤によって駆動される双極ジェット: 鎌木 修, 夷藤雅純 (東北大理)
- A105 加速される Shell の不安性と H-H Objects: 花見仁史, 坂下志郎 (北大理)
- A106 恒星風と星間ガスの相互作用: 嶋 英志 (川崎重工), 松田卓也 (京大工)
- A107 ブロードバンド吸収を示す珪酸化合物 SiO 分子の急冷蒸着による合成: 和田節子, 坂田 朗 (電通大), 尾中 敬 (東大理)
- A108 星間吸収帯 $\lambda 4430 \text{ \AA}$ の観測: 高橋 淳 (東京学芸大), 磯部秀三, 佐々木五郎, 乗本祐慈 (東京天文台)
- A109 散乱による偏光—星間塵モデルの依存性—松村雅文 (東北大理), 関 宗蔵 (東北大教養)

会場 B (経済学部第4講義室)

第3日 10月9日(水) 午前9時より 会場 B

- B 72 カस्प近傍における降着円盤の進化: 松元亮治(京大理)
 B 73 ブラックホール近傍での磁気流体波の伝播: 高橋真聡, 横沢正芳, 石塚俊久(茨大理)
 B 74 ブラックホールの回転による磁力線のねじれ: 矢吹洋一, 横沢正芳, 石塚俊久(茨大理)
 B 75 軸対称時空での輻射輸送方程式: 森田一彦, 兼古 昇(北大理)
 B 76 M31 の球状星団の分布について: 渡部潤一, 山縣朋彦(東大理)
 B 77 逆行星量と恒星円盤の一本腕不安定: 穂積俊輔(京大理), 藤原隆男(京都芸大)
 B 78 円盤銀河 NGC 2300, NGC 2775 の三次元構造: 水野孝雄, 古川 聡(東京学芸大)
 B 79 二重銀河の力学的進化: 横沢正芳(茨大理), 井上 允(東京天文台)

(休憩)

- B 80 ボーラー・リング銀河: 若松謙一(岐阜大工短部)
 B 81 Gas-Rich Dwarf の Capture と Polar Ring 形成: 羽部朝男(北大理)
 B 82 銀河構造の統計的性質: 渡辺正明, 小平桂一, 岡村定矩(東京天文台)
 B 83 密小銀河グループ CGCG 202: 小平桂一, 家 正則(東京天文台)
 B 84 通常銀河の電波特性: 河原真則, 斉藤 泉, 田原博人, 加藤龍司(宇都宮大教育)
 B 85 大規模構造形成の無衝突シミュレーション: 藤原隆男(京都芸大)
 B 86 重力多体系の激しい緩和の最終状態: 種神純一郎(東大理), 杉本大一郎(東大教養)
 B 87 宇宙のクォーク・ハドロン相転移における等温的密度ゆらぎの生成: 磯 健一, 小玉英雄, 佐藤勝彦(東大理)

第3日 10月9日(水) 午後1時15分より 会場 B

- B 88 膨張宇宙における密度ゆらぎの成長をシュミレートする新しい計算法: 中村卓史(京大理)
 B 89 宇宙論的無衝突ガスにおける渦の発生: 冨田憲二, 葛西真寿(広大理論研)
 B 90 不安定粒子の崩壊に伴う宇宙構造の変化: 須藤 靖(東大理), 野口正史(東京天文台)
 B 91 ニュートリノの崩壊と 3°K 黒体輻射: 川崎雅裕, 佐藤勝彦(東大理)
 B 92 インフレーション宇宙におけるバリオン数生成 III: 佐藤伸明, 小玉英雄, 佐藤勝彦(東大理)
 B 93 Modified Brans-Dicke 宇宙での元素合成 III: 荒井賢三(熊本大理), 橋本正章(東大教養), 福井尚生(獨協大教養)
 B 94 ニュートリノの radiative decay と元素合成: 寺沢信雄, 佐藤勝彦(東大理)
 B 95 子午線観測における観測室内屈折の補正: 宮本昌典, 深谷力之助, 桑原龍一郎, 鈴木駿策(東京天文台)
 B 96 PMC 高度目盛環の目盛の安定性: 石井 久, 宮本昌典(東京天文台)
 B 97 地球力学時と太陽系力学時の関係: 平山智啓, 木下 宙, 藤本真克(東京天文台), 福島登志夫(水路部)

(休憩)

- B 98 精密軌道を用いた GPS 衛星による国際時計比較: 山崎利孝, 木下 宙, 藤本真克(東京天文台)
 B 99 地球自転速度の 40 日以下の変動: 横山紘一, 原 忠徳(緯度観測所)
 B100 VLBI 物理モデルの改良 (I): 大江昌嗣, 花田英夫(緯度観測所)
 B101 小惑星の子午線観測による春分点決定精度: 相馬 充(東京天文台)
 B102 惑星暦 (VSOP. 82) の準拠座標系と基本座標系の関係: 新美幸夫(東京天文台)
 B103 土星の衛星イヤーベツスの軌道改良: 畑中至純(東京天文台)
 B104 1:1 小天体の相互擾動: 堀 源一郎(東大理)
 B105 アンローディングを考慮した人工衛星の軌道決定: 佐藤耕一(富士通)
 B106 座標系の選び方による接触ケプラー要素の違い: 中井 宏, 木下 宙(東京天文台)
 B107 ヒルの周期軌道の拡張: 渡辺憲昭(千葉商大)